

2 章 機械仕様および配置図

1. 標準仕様 (Premium 仕様)

1-1. 機械仕様

本機

最大加工物寸法 (幅×奥行×高さ) (噴流, 浸漬加工時)	1,050 × 750 × 400 mm
最大加工物質量 (噴流, 浸漬加工時)	1,500 kg
左右移動距離 (X 軸)	750 mm
前後移動距離 (Y 軸)	500 mm
上下移動距離 (Z 軸)	400 mm
補助テーブルストローク (U 軸×V 軸)	770 × 520 mm
テーパ加工制御角度 (板厚 150 mm にて)	±30 °
自動結線装置	標準装備
ワイヤー電極径	φ0.15 ~ φ0.3 mm, φ0.33 mm (Premium)
ワイヤー送り速度	最大 420 mm/sec
ワイヤー張力	3 ~ 23 N
加工方式	上下噴流加工・浸漬加工
床面からテーブル上面までの距離	1,000 mm
ワイヤリール質量	最大 20 kg、最大ボビン幅 140 mm (ボビン外周が円であること。多角形のもの使用できません。)
機械本体寸法 (幅×奥行×高さ)	2,050 × 2,850 × 2,295 mm
機械据付寸法 (幅×奥行)	3,100 × 4,000 mm
機械本体質量 (電源部・サービスタンク部を含む)	6,000 kg
エア圧	0.5 MPa
エア消費量	30 NL/min
電気容量	3 相 50/60Hz 15 KVA

サービスタンク

加工液	純水
容積	1,035 L
純水器	イオン交換樹脂 (10 L 仕様)
加工液濾過方式	ペーパーフィルター交換式 (内圧 2 筒式) (Premium: ユニットフィルター内圧 2 筒式追加)
加工液冷却装置	標準装備

コイルクーラ

必要冷却液容量	20 L
使用油	モービルペロシティオイル No. 3 相当品

1-2. 姿図

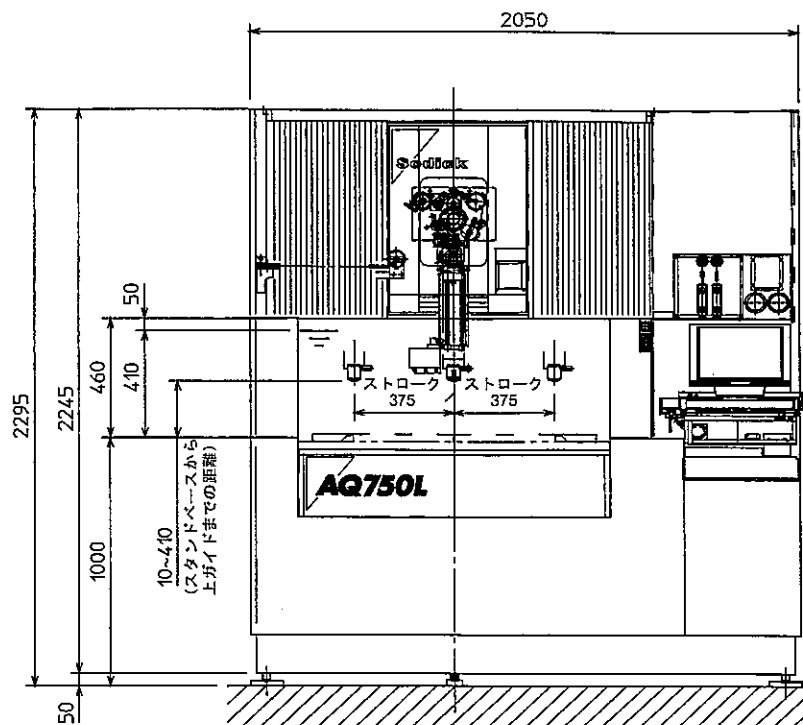


図 2-1 AQ750L 正面図 (標準仕様)

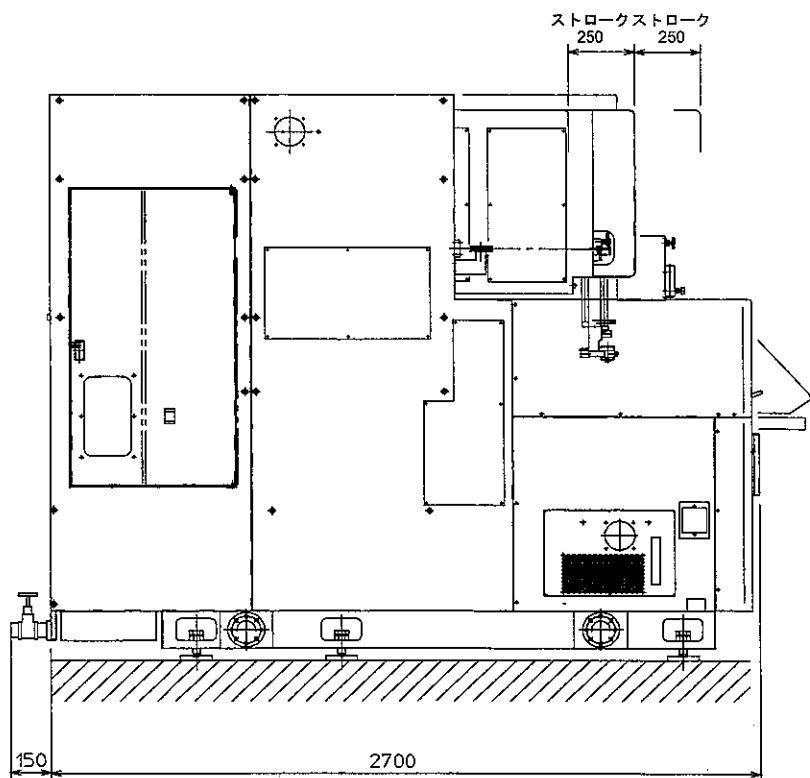


図 2-2 AQ750L 右側面図 (標準仕様)

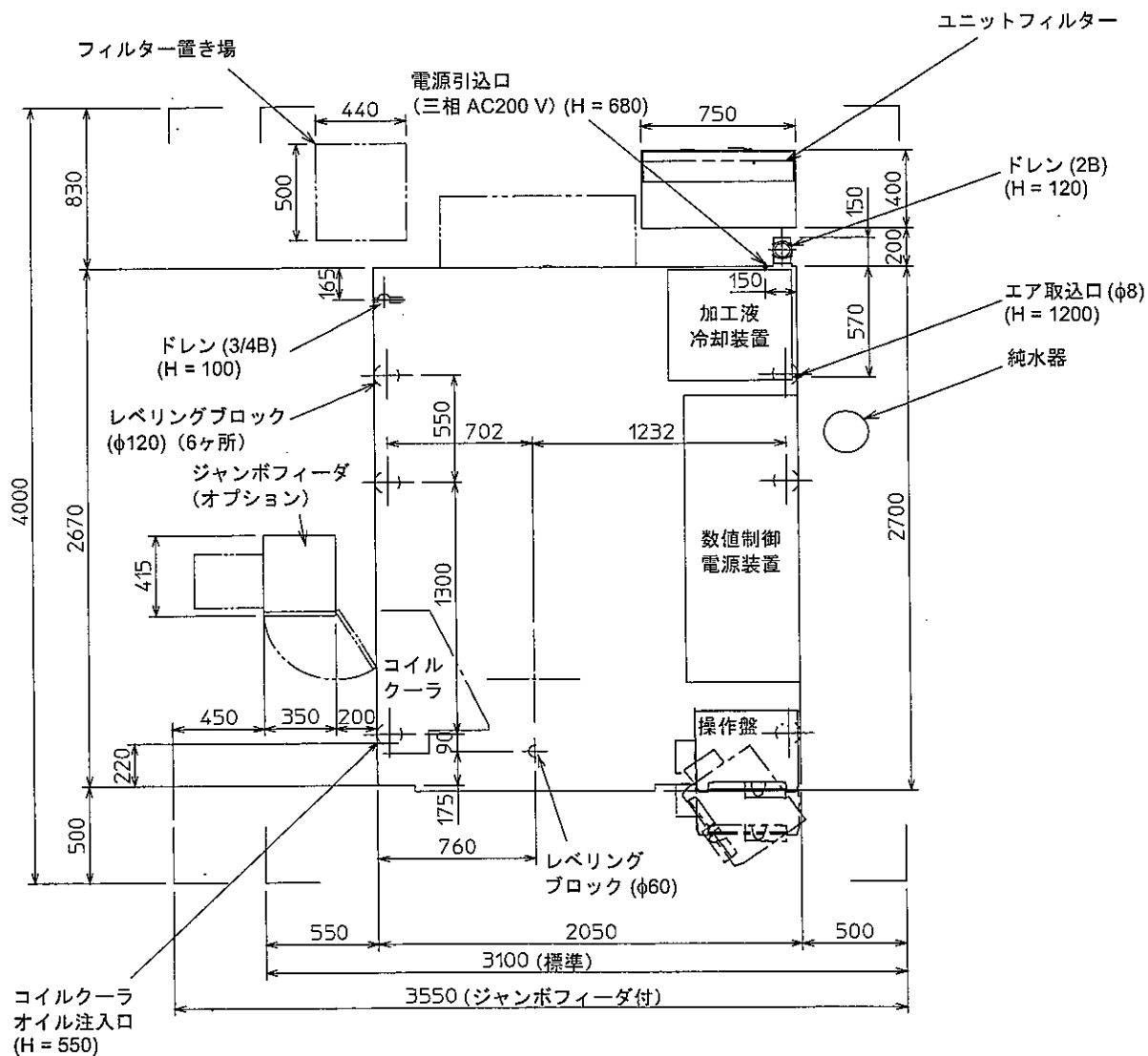


図 2-4 AQ750L 配置図 (Premium 仕様)

5. ワークテーブル寸法図

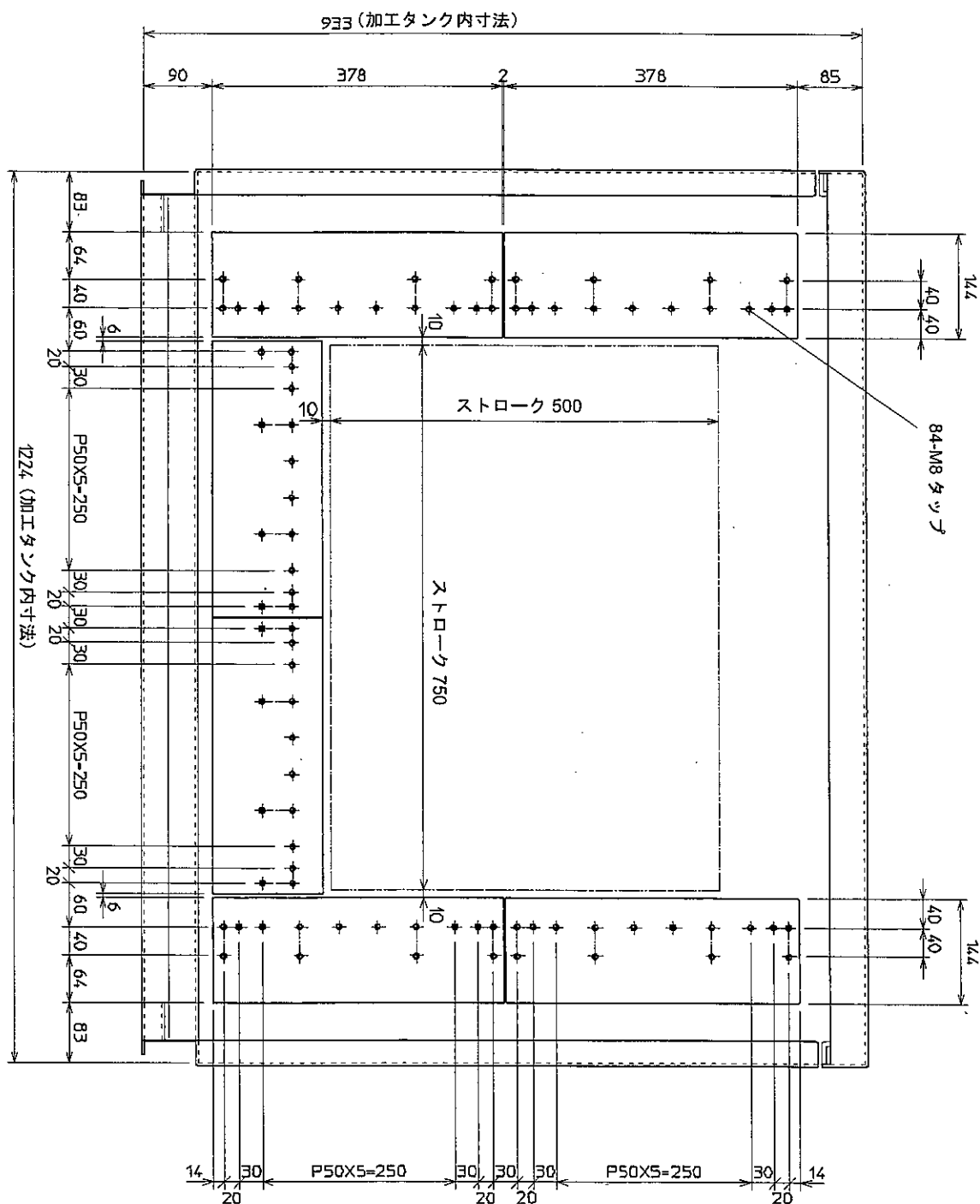


図 2-14 AQ750L ワークテーブル寸法図

3 章 本機の据付けと配管および配線

1. 機械の据付け場所

機械の据付け場所は、以下の項目に留意の上で選定ください。

- 配置図（2 章参照）のスペース
（オプションなど、追加仕様により異なる場合がありますので、予めご確認ください。）

- 機械重量に十分耐えうる場所
- 振動・衝撃の伝わらない場所
- 粉塵のない場所

- 温度変化の少ない場所

クーラーの冷風、他機器からの排熱が直接機械に影響しないように配慮してください。

- 環境によっては電波障害防止のため、シールドルームなどが必要な場合があります。

放電加工により、テレビなどの外部機器に障害が発生する場合は、シールドルームを設置してください。

適切なシールドルームの仕様は、外部の機器に与える障害の程度、周辺環境、および必要な面積などにより異なります。シールドルームにつきましては、販売店にご相談ください。

- 床が濡れても滑らない場所

2. 付帯工事

機械の運転に伴う付帯工事は、つぎのとおりです。

(1) 電気設備

数値制御電源装置

3 相 AC 200 V $\pm 10\%$ 50/60 15 kVA

3 相入力およびアース： 14 mm² $\times$ 4 芯

ブレーカ仕様： 遮断電流： 50 A

漏電感度電流： 100 mA $\sim$ 200 mA

リニアモータはインバータ回路により周波数を変換しています。
1984 年頃以降に製造されたブレーカのほとんどは、このインバータ回路に対応しています。上記仕様を満たしているにもかかわらずブレーカが作動する場合は、インバータ回路に対応していないことが考えられますので、ブレーカの確認をお願いします。

推奨ブレーカ

松下電工(株)製： BJC-3504N

(遮断電流 50 A、感度電流 100 mA)

富士電機(株)製： EG103B-50A

(遮断電流 50 A、感度電流 100/200/500 mA 切替式)

(2) 接地工事



警告

- ・ 据付時には必ず接地工事をおこなってください。

電気設備基準として定められた独立の特別第 3 種工事（接地抵抗 10 Ω 以下）を実施してください。

感電、他機器への電波障害、および他機器からのノイズによる誤動作の恐れがあります。

感電の防止、他機器への電波障害の防止、および他機器からのノイズによる誤動作の防止のため、必ず接地工事をおこなってください。接地工事は、電気設備基準で定められた独立の特別第 3 種工事（接地抵抗 10 Ω 以下）を実施してください。ノイズ流入がほとんどない場合に限り、共通接地が可能です。この場合、接地ケーブルは接地極まで単独で接続してください。

(3) 空圧装置

供給空圧： 0.5 MPa 以上（エアクリーンユニット部にて）

供給流量： 10 L/min（常時）

30 L/min（最大）以上を確保してください。

エア コンプレッサを本機用にあらたに用意される場合には、目安としてモータ部出力 0.4 kW 以上のものをご使用ください。

また、 $\phi 8 \sim \phi 10$ mm（内径）のホースが必要です。